



PHOTO:WRX STi ミッドナイトブラックマイカ 濃色ガラスはメーカー装着オプション

PHOTO:テスト車両

マイスターのボディ。

クルマのカatalogには、よく「最先端のコンピューター解析技術を導入し…」といったフレーズが登場する。スバルも例外なく設計から性能評価に至るまで、さまざまな分野でコンピューターを活用し、より効率的な開発に役立てている。ところが、コンピューターがどんなに進歩しても人間の鋭敏な感性を超えることはできないということも、やはり事実なのである。クルマの走りを味わうことは、あくまで感覚的なものである。だからこそ、それを造ることもやはり最後の部分は人間の感覚に依らなければならない。そして、NEW STiのように、走りにエンスージアスティックなドライバーが選ぶようなクルマには、マイスターつまり職人とも呼べるような鋭い感性と、走りに対する高い見識を持った人物が絶対に必要なのである。走りに走り、こだわりにこだわって、時には自らが溶接機を握って「走り」を仕上げていく。これがスバルの流儀であり、伝統になっている。NEW STiには、そんなマイスターの血液が流れている。

Pride of Sports. **Power Body.**

World Rally Dimension

フロントトレッド1490mm/リヤトレッド1480mm^{*}、全幅1730mm、ホイールベース2525mm。WRX系には、WRカーに匹敵するディメンションが与えられた。WRX系があえて3ナンバー化した理由、それは走りのための理想的なトレッドと225/45ZR17のタイヤがどうしても欲しかったからである。さらに、サスペンション設計の自由度を高めるとともに、